# 法面工におけるICTを使用した測量と通常測量との比較

株式会社 土佐建機

#### 主な内容

- •工事概要
- •ICTを使用した作業内容について
- •ICTを使用した出来形管理について
- ・コストと時間について
- ・まとめ

#### 工事概要

工事番号:道修(保)第09-04-201号

工 事 名: 県道松原窪川線道路施設補修工事

工事場所: 高知県 高岡郡梼原町 久保谷

工期: 令和3年9月10日~令和4年2月16日

施工日数:約1か月程度

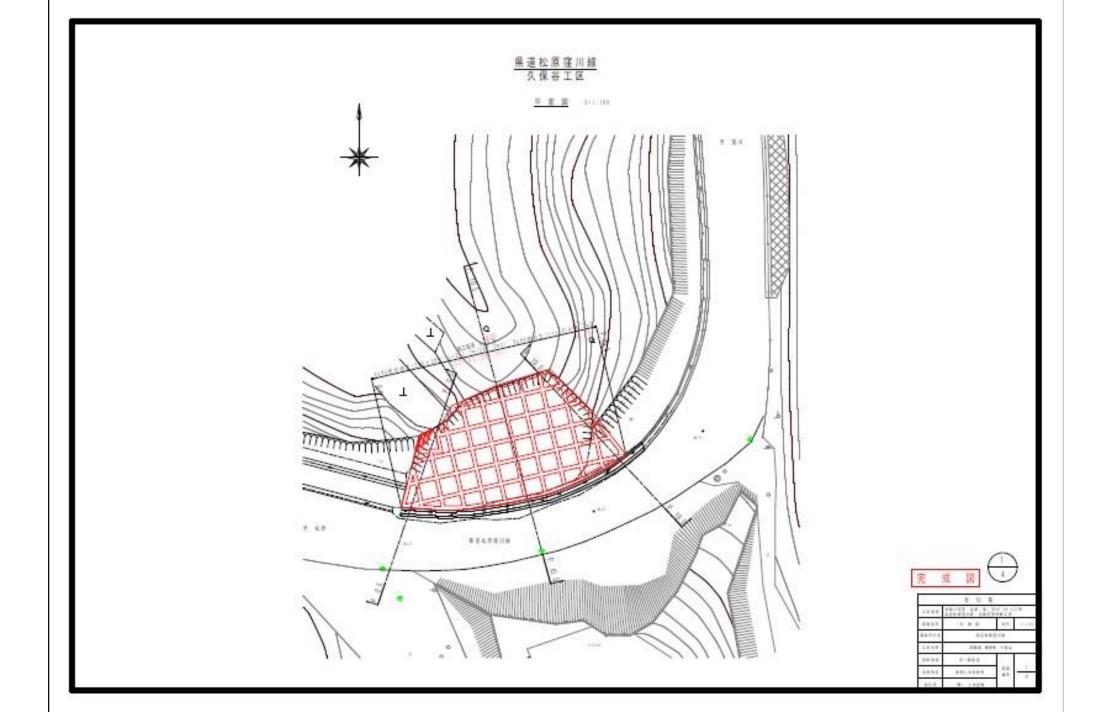
工事内容:施工延長L=19.5m

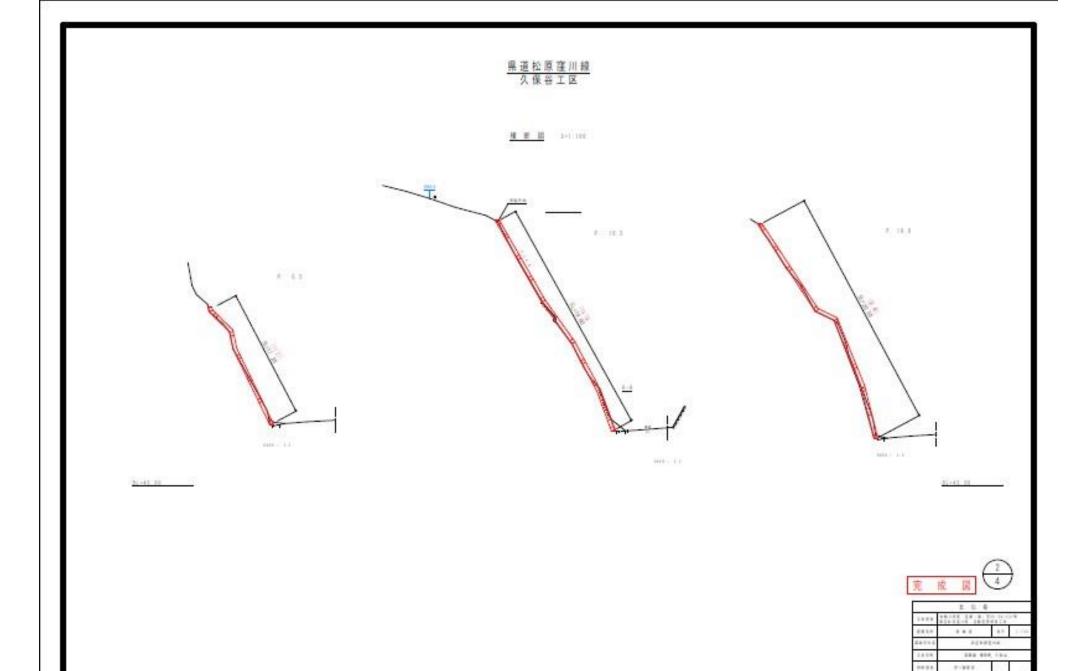
モルタル吹付枠工L=321.7m

契約金額:15,785,000円(税込)

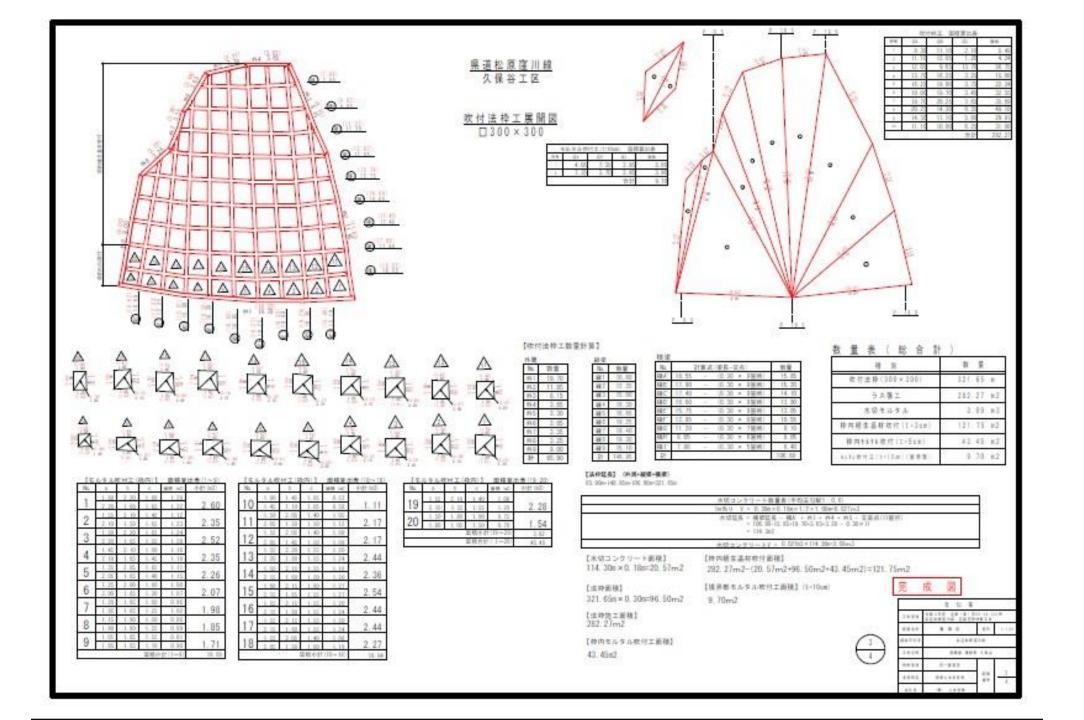
#### 現場位置図







\*\*: \*\* \*\*

















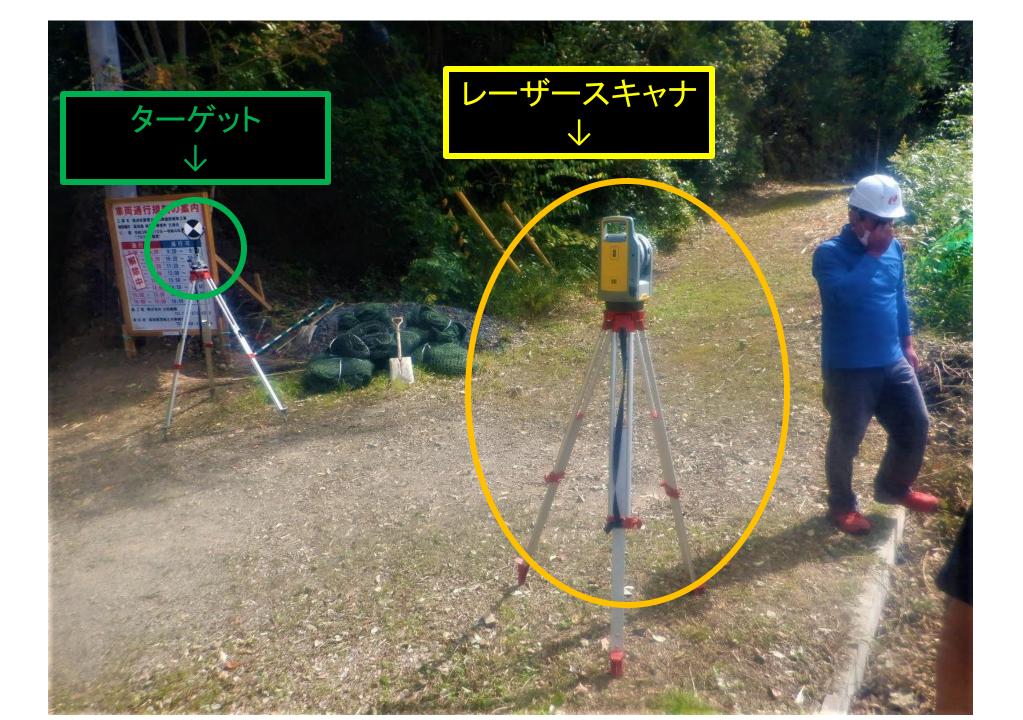


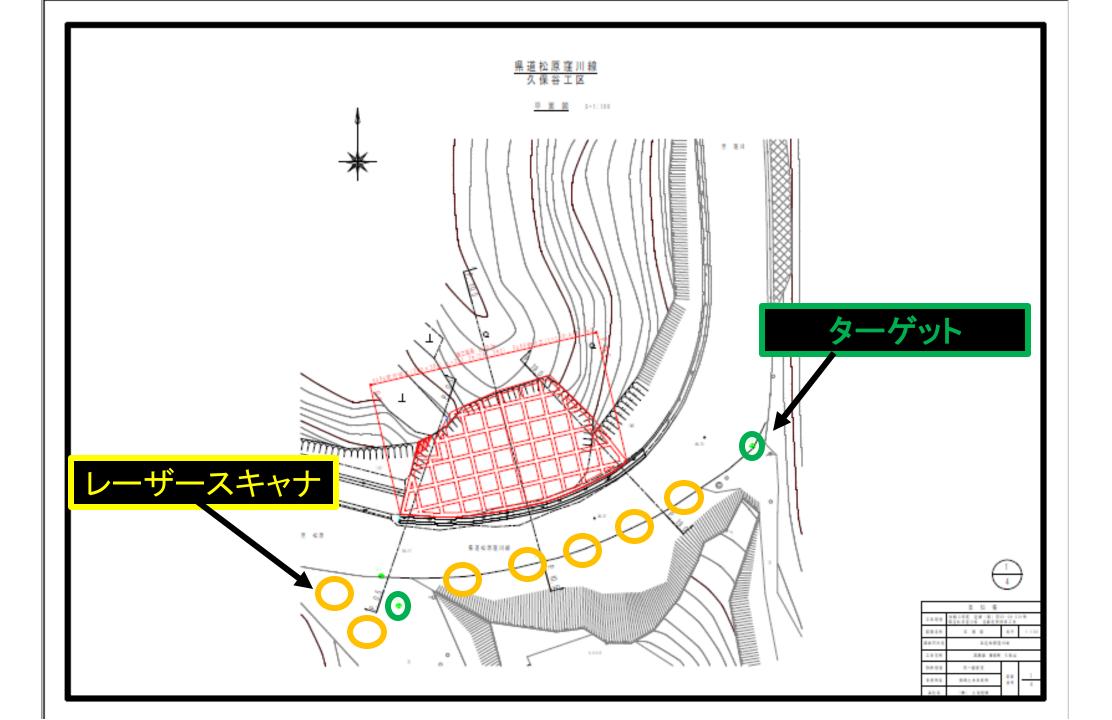




#### 本工事におけるICTを使用した作業

- +3次元設計データ作成
- •3次元起工測量
- +ICT建設機械による施工
- •3次元出来形管理
- ・3次元データ納品





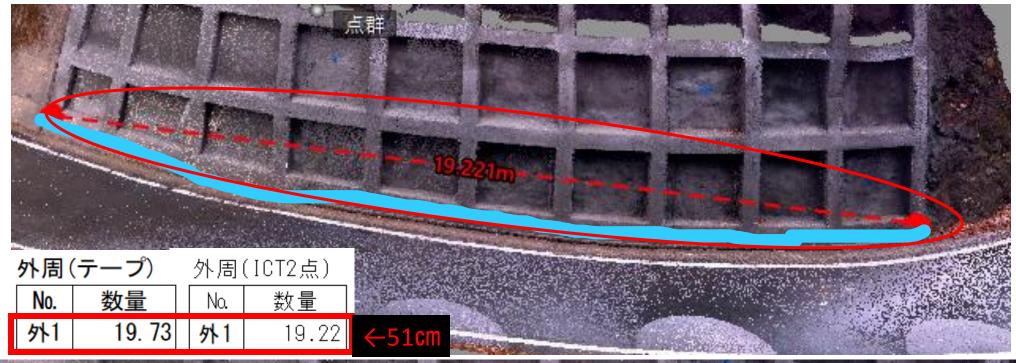


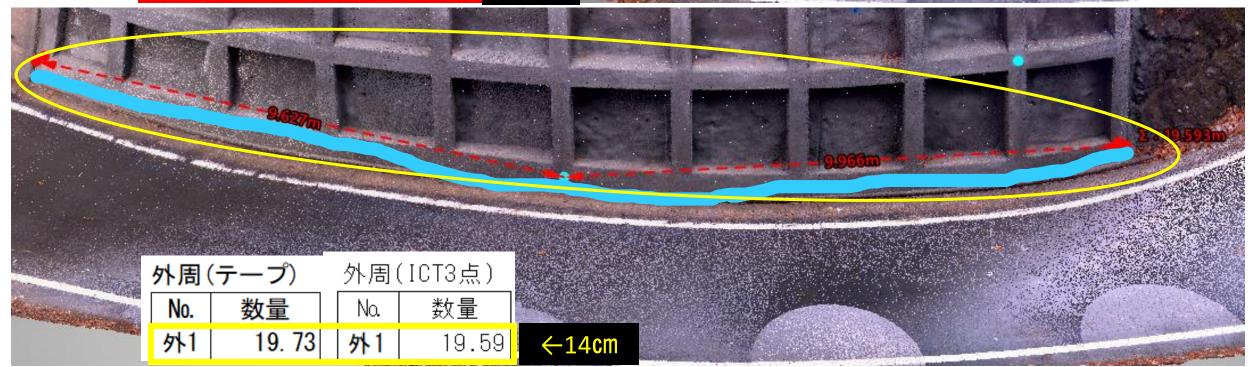






出来形確認(法枠延長)



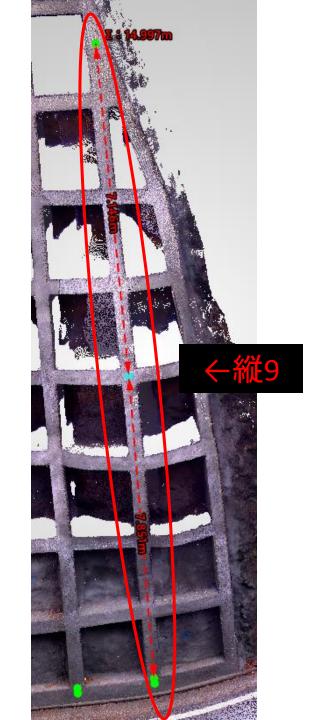


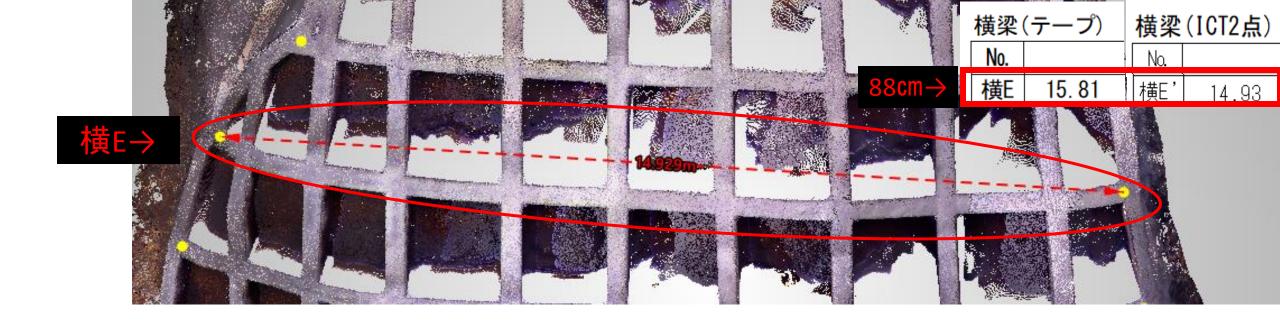


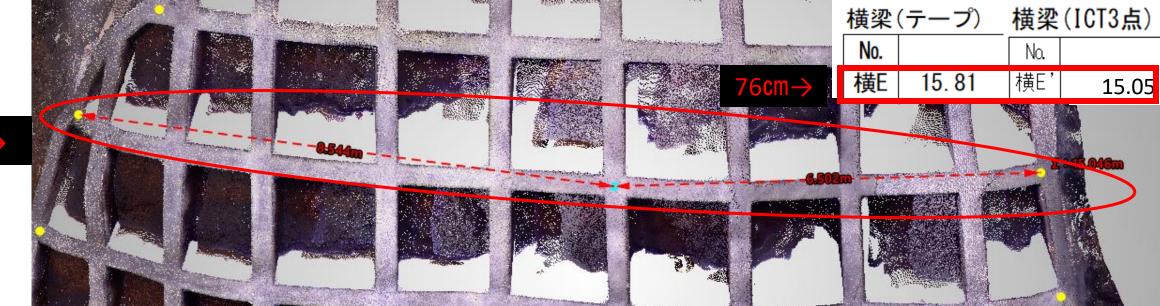
↑ 40cm

縦梁(テープ)			縦梁(ICT3点)		
No.	数量		No.	数量	
縦9	15. 27		縦9	15. 00	

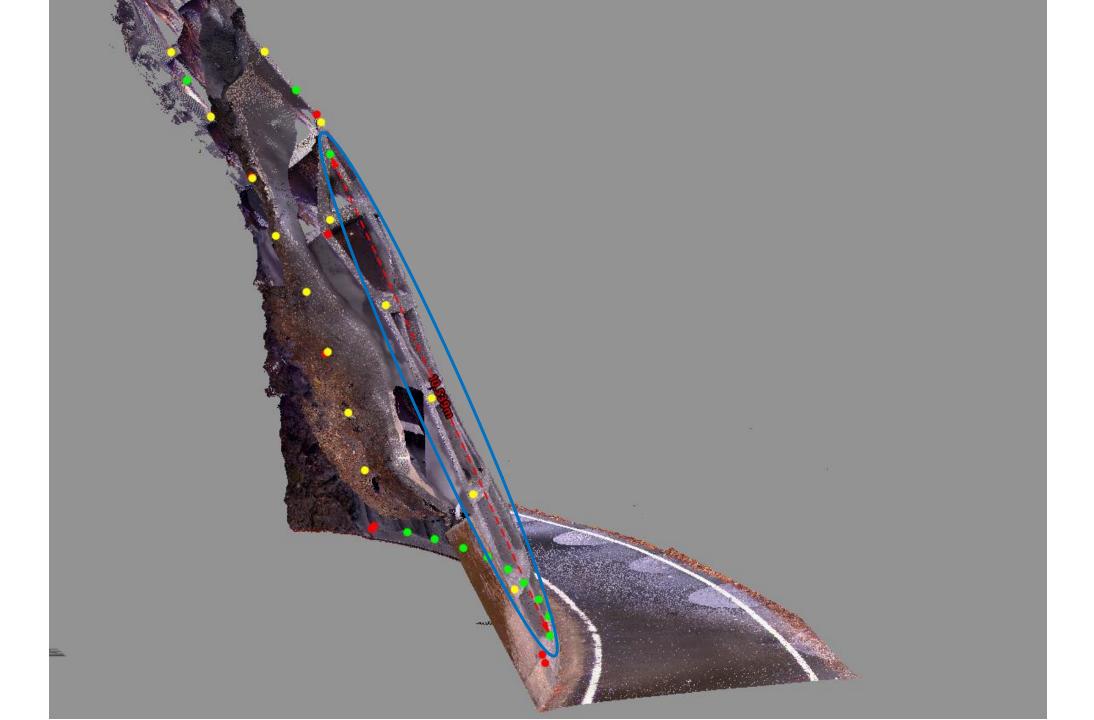
个 27cm

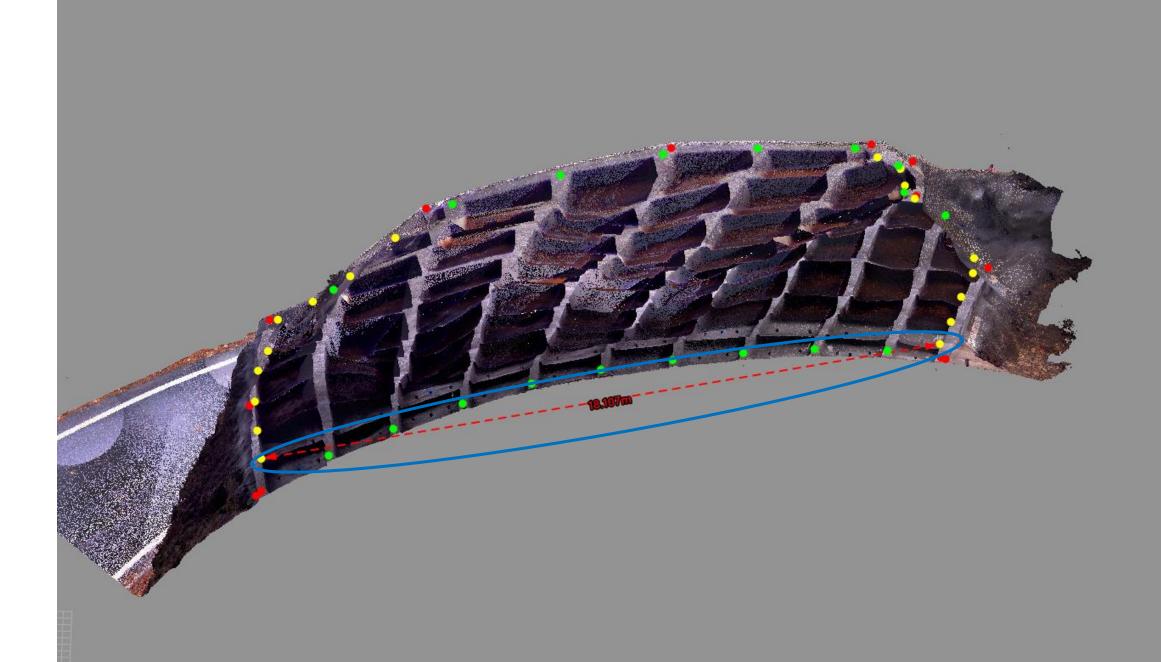






横E→





#### PC上での計測値を実測値に近づけるには・・・

(3D図面上での)交点ごとに手動でトレースポイントを設置

 $\downarrow$ 

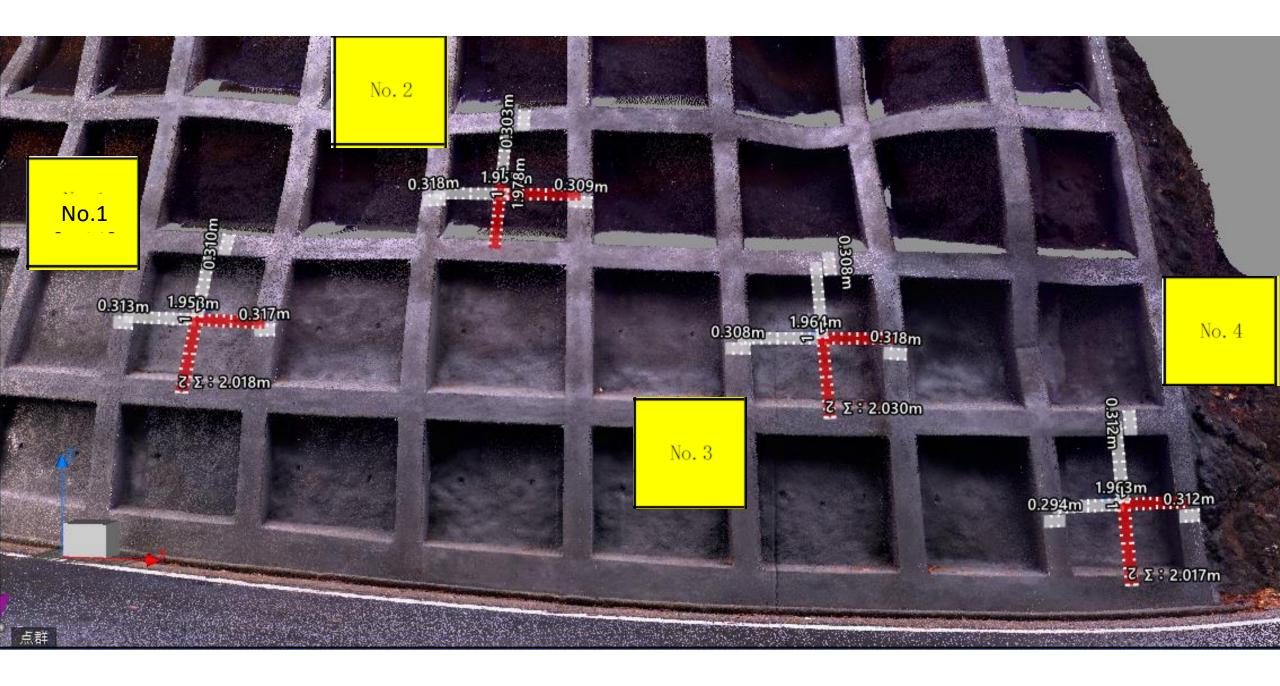
延長を折れ線計測する

#### PC上での計測値を実測値に近づけるには・・・

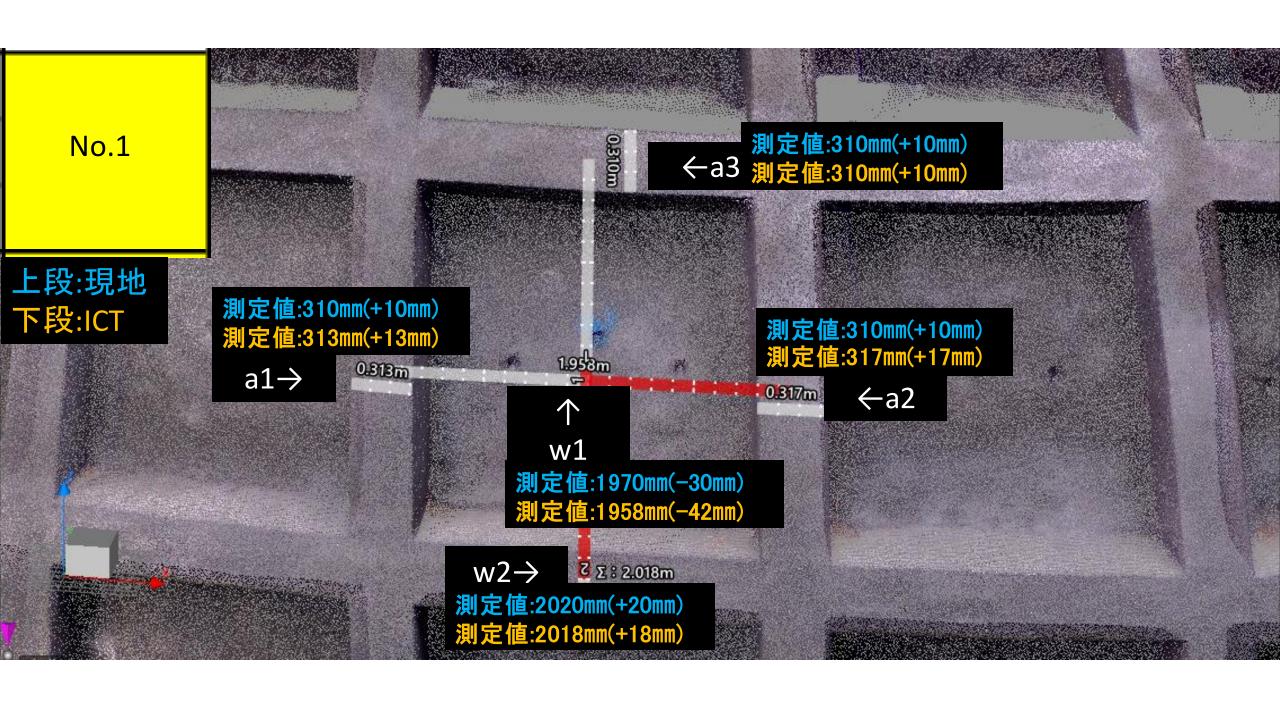
(3D図面表面上での)折れ点(変化点)を見つけ、手動でトレースポイントを設置

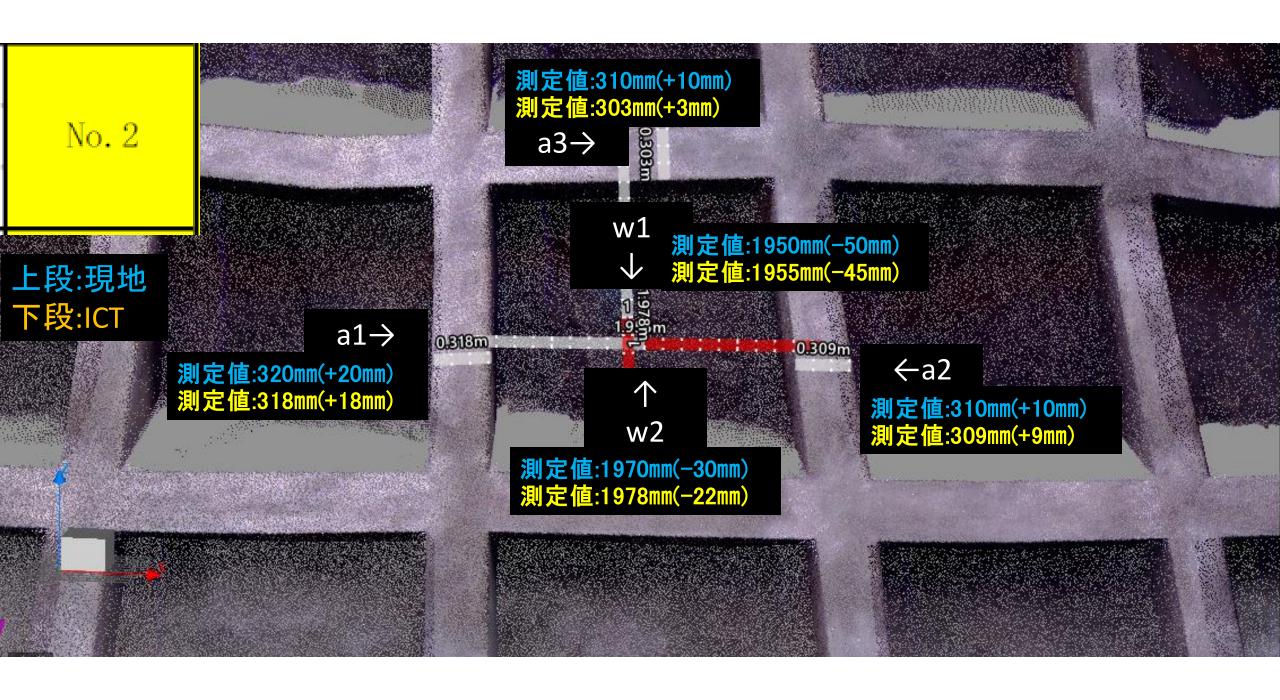
延長をリボン機能にて計測し、表面の点群に一定間隔で沿わせる

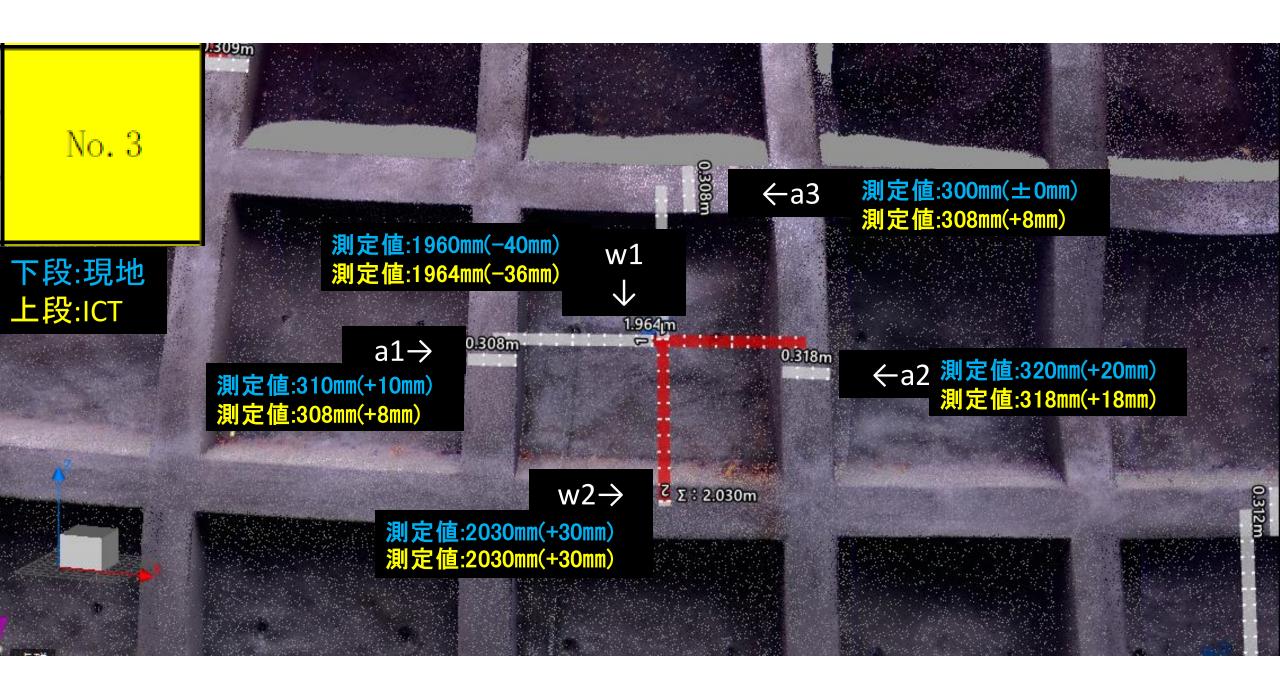
### 出来形確認(法枠出来形確認)



	枠中心間隔		梁の幅		
測点	W1	W2	a1	a2	a3
No.1	実地:1970mm	実地:2020mm	実地:310mm	実地:310mm	実地:310mm
	ICT:1958mm	ICT:2018mm	ICT:313mm	ICT:317mm	ICT:310mm
	差:12mm	差:2mm	差:3mm	差:7mm	差:0mm
No.2	実地:1950mm	実地:1970mm	実地:320mm	実地:310mm	実地:310mm
	ICT:1955mm	ICT:1978mm	ICT:318mm	ICT:309mm	ICT:303mm
	差:5mm	差:8mm	差:2mm	差:1mm	差:7mm
No.3	実地:1960mm	実地:2030mm	実地:310mm	実地:320mm	実地:300mm
	ICT:1964mm	ICT:2030mm	ICT:308mm	ICT:318mm	ICT:308mm
	差:4mm	差:0mm	差:2mm	差:2mm	差:8mm
No.4	実地:1970mm	実地:2020mm	実地:310mm	実地:310mm	実地:310mm
	ICT:1963mm	ICT:2017mm	ICT:294mm	ICT:312mm	ICT:312mm
	差:7mm	差:3mm	差:16mm	差:2mm	差:2mm









# コスト・時間比較

#### 道修(保)第09-04-201号 県道松原窪川線道路施設補修工事 ICTを使用した測量と通常測量それぞれにおける人件費の比較

法枠工							
通常測量			ICT測量				
作業(内訳)	時間	金額(円)	作業(内訳)	時間	金額(円)		
事前測量	1時間	65,800	起工測量、点群 データ処理(委託)	1時間 +1日	820,000		
出来形測量	2時間	176,700	出来形測量、点群 データ処理(委託)	1時間 +1日	558,000		
作図(変更図)	2日	44,200	3 D測量データ 作成	2日	44,200		
出来形管理図作成	1日	22,100	出来形管理図作成	1日	22,100		
合計	3日 +3時間	308,800	合計	5日 +2時間	1,444,300		

# まとめ

# 長所

## 短所

- ・施工管理における安全を確保できる
- ・出来形管理における現地までの移動 を省くことができる
- ・計測した数値や地点、軌跡などを振り返ることが

できる

・施工が大規模であるほど効率を実感しやすい

- ・現在のソフトウェアでは現地計測より も時間がかかり、費用も高額になる
- ・現地での計測値との差が大きい
- ・適用できる出来形管理作業は限られる

☆適用できる・・・

事前測量、出来形管理

(施工面積、法枠延長、

梁の寸法確認等)

☆適用できない・・・吹付厚計測